カモメと会った日

文と絵　佐伯育郎

(財)広島県環境保全公社
協力／広島県

はじめに

きれいな空気、清らかな水、緑豊かな自然、私たちが生きていくために欠かせないこれらの環境を次の世代へ残していきたいと考え、財団法人広島県環境保全公社は、環境絵本を作成しました。

この絵本は、５つのテーマからなっており、それぞれ、私たちの身近な環境の大切さを訴えています。読んだ後、子どもたちと保護者の方が一緒になって、私たちに何ができるのかを考えていただければ幸いです。

絵本の作成にあたり、熱心にご指導、ご助言をくださいました広島大学若元澄男教授、絵本の文と絵を作成してくださったみなさん、広島県の関係者に厚くお礼申しあげます。

財団法人 広島県環境保全公社
理事長　木　原　敏　博

「環境絵本 ぼくとわたしの地球」によせて

私たちは、便利で豊かな生活を求めてきました。その結果、生活環境や地球環境に、さまざまな問題が起こっています。恵み豊かな環境を守り、子どもたちに引き継ぐためには、これらの問題を解決していくことが必要です。

このためにまず大切なことは、環境の問題について「知ること」ではなく、環境や自然が持っている不思議さや神秘さを「感じること」と言われています。

この絵本には、私たちの身のまわりにある環境の問題が、子どもたちにもわかりやすく描かれています。ぜひ、子どもたちといっしょにお読みください。

そして、環境について何かを「感じること」ができたら、まわりへ目を向けてみてください。そうすれば、私たちにしかできない環境の守り方が見つかるでしょう。

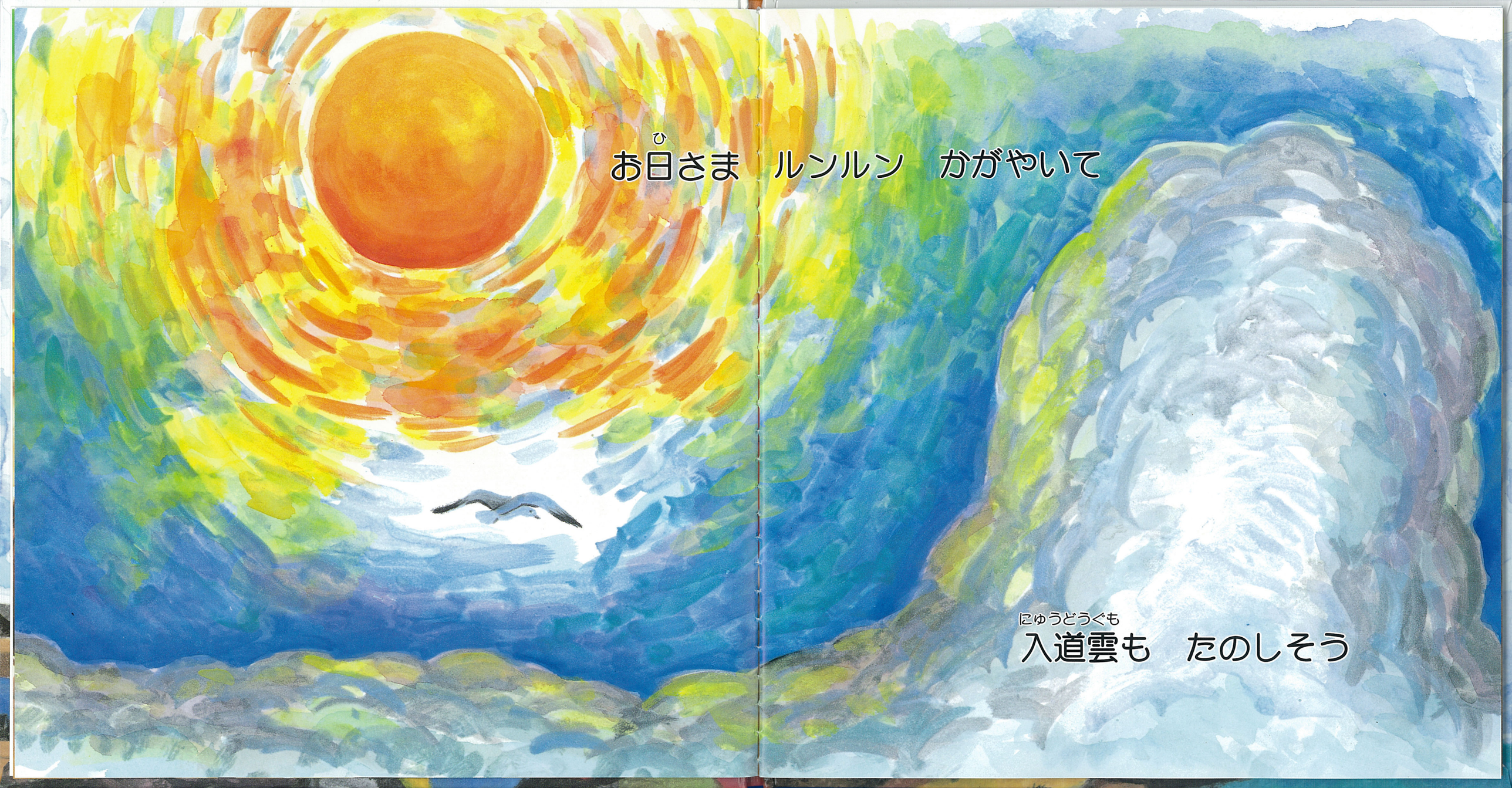
広島県県民生活部長　　阪　本　博　臣

カモメと会った日

文と絵　佐伯育郎

㈶広島県環境保全公社
協力／広島県

きょうは　たのしい　海水浴（かいすいよく）

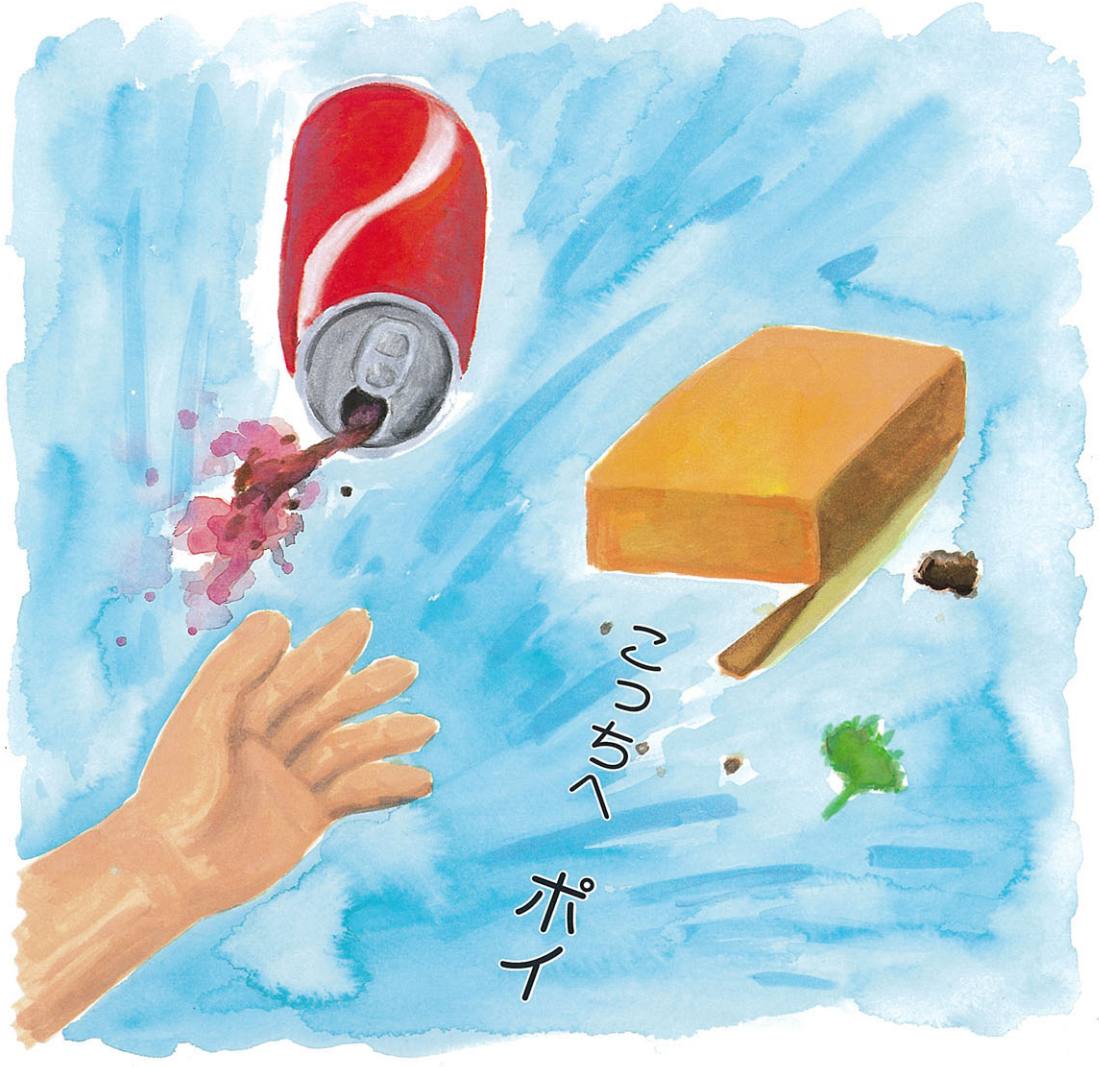

お日(ひ)さま　ルンルン　かがやいて
入道雲(にゅうどうぐも)も　たのしそう

そろそろ
おなかが すいてきた
みんなでお弁当
たべましょう

たべたら　ごみは　そこらへ　ポイ

のんだら　空き缶　そこらへ　ポイ

あっちへ
ポイ


こっちへ
ポイ

ポポイの
ポイの
ポーイポイ

たのしい　べんとう　ごちそうさん

それじゃあ　みんなで
およぎましょう

あれあれ

それでいいのかな

空(そら)から　カンが　ふってきた

あの　カモメの　しわざだな

あれあれ カモメよ どこへいく

あそこだ あそこだ ほら あそこ

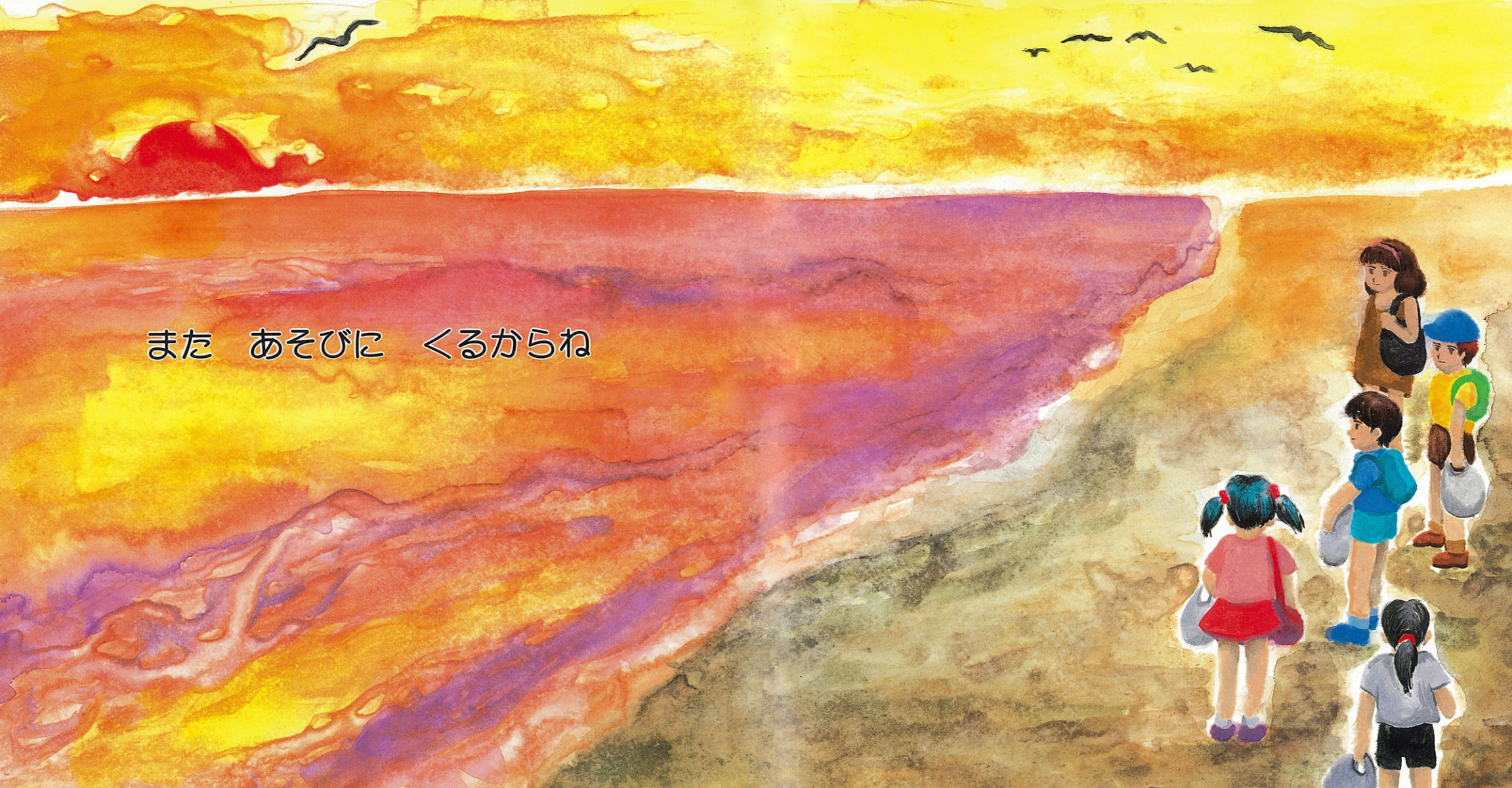
こんなところに　ごみの山（やま）

あぁ そうだ
みんなで　ポイすて　してたよね

カモメが　気付(きづ)かせて　くれたんだ

やっぱり　浜辺（はまべ）は　きれいなほうが

いきものだって
うれしいよ


また　あそびに　くるからね

この本を読んだみなさんへ

財団法人 広島県環境保全公社

私たちの生活のなかに、今ごみがあふれています。浜辺や公園などに散乱するごみを見ていやな思いをしたことがありませんか。ごみを出すのもポイ捨てするのも私たち人間です。そしてそれをきれいに出来るのも私たち人間ではないでしょうか。ひとり、ひとりがごみを出さないこと、捨てないことを続ければきっときれいな浜辺が戻ってくるはずです。この絵本を読みながら子どもたちと一緒にカモメが何を言いたかったのか考えてもらえることを願っています。

佐伯育郎（さえき・いくお）
広島大学附属中学校　教諭

私が好きな鳥たちも、人間の手によって住みかを追われています。子どもの頃、休みの日ごとに出かけた海や野山も、以前とはその姿を変えているようです。そんな鳥たちのメッセージが、少しでも読む人に伝わればと思いながらつくりました。

監修：若元澄男（わかもと・すみお）
広島大学　学校教育学部　美術教育

みなさんが大人になったとき楽しく暮らせる地球があること。みなさんの子ども達が大人になったとき楽しく暮らせる地球があること。その先もずーっと……。この本は、そんなことを願いながら、広島大学の学生や学校の先生達が一生懸命につくりました。

環境絵本／カモメと会った日
発　　行／㈶広島県環境保全公社
〒730-0051 広島市中区大手町2丁目11番15号
新大手町ビル５階
TEL(082)242-1411 FAX(082)242-1413
協　　力／広　島　県
印刷・製本／株式会社 総合広告社
〒739-0002 広島市西区楠木町3丁目１番40号
TEL(082)239-0200 FAX(082)239-0166

平成12年(2000年)3月発行